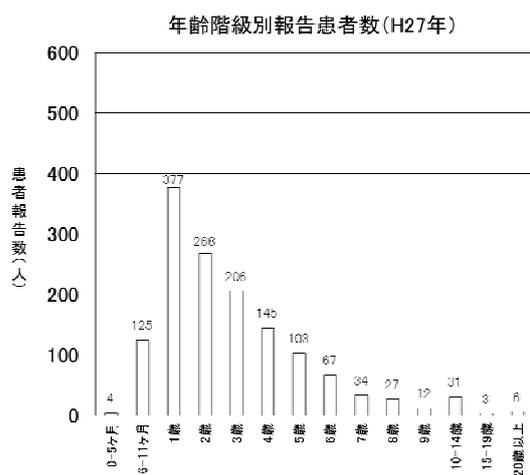
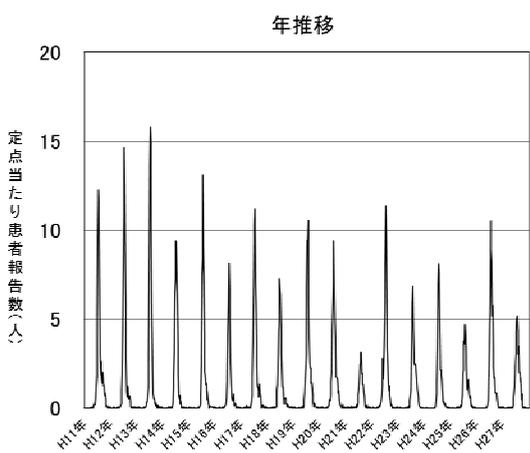
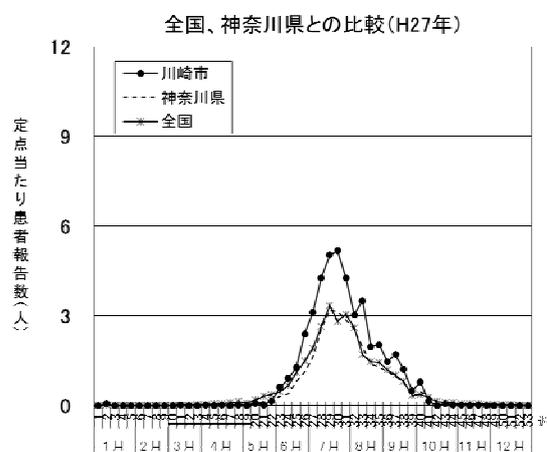
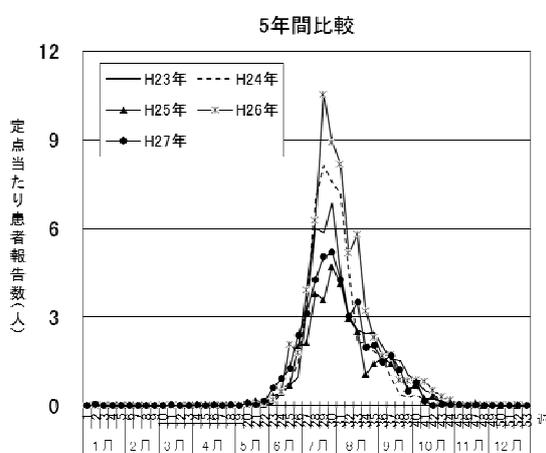


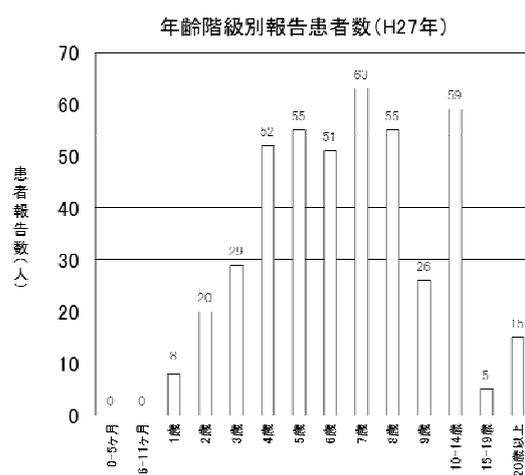
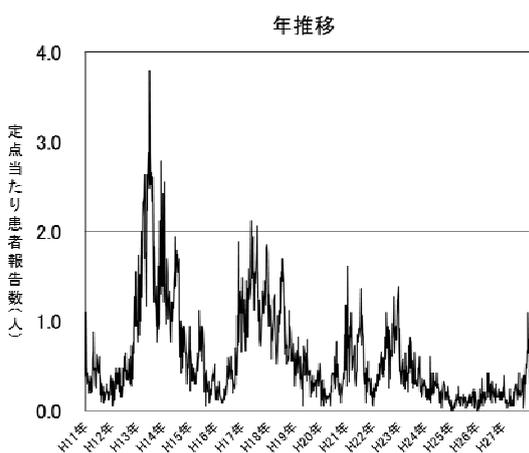
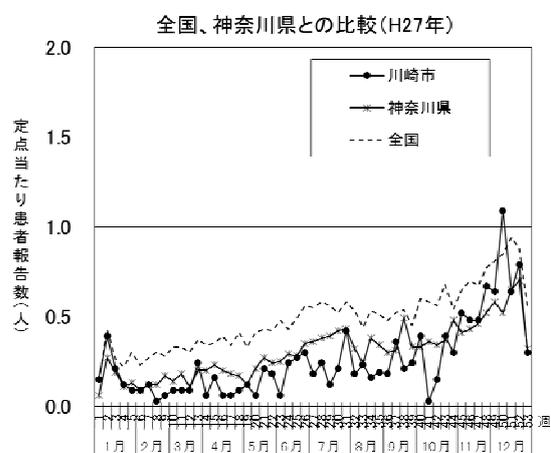
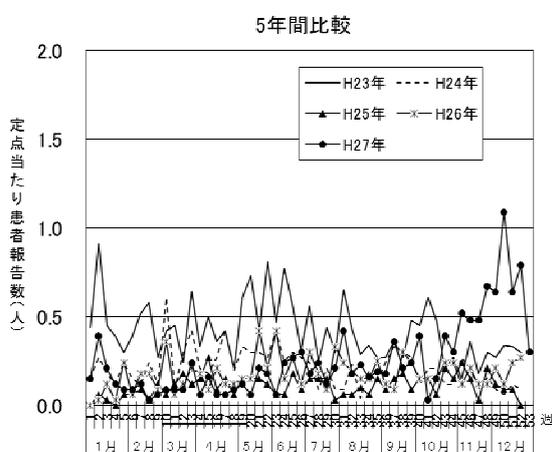
j ヘルパンギーナ

平成 27 年の累積患者報告数は 1,408 人、定点当たり患者報告数は 43.99 人で、前年（67.12 人）と比べて減少した。例年と同様、夏期に一峰性の流行を示し、定点当たり患者報告数の最大値は第 30 週の 5.18 人であった。年齢階級別では 1 歳が最も多く、1-4 歳が全体の 70.7%を占めた。



k 流行性耳下腺炎

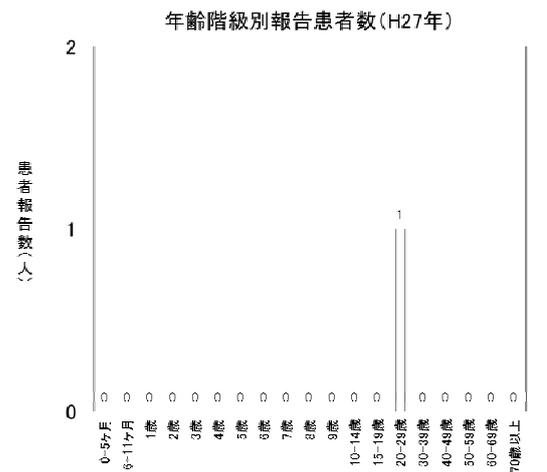
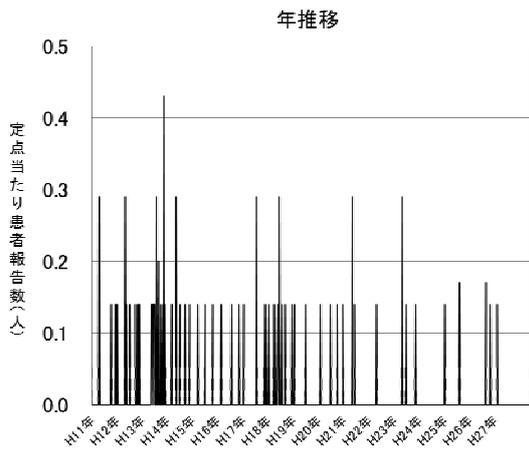
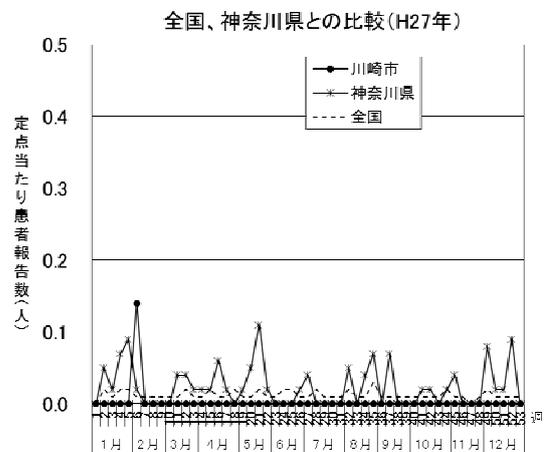
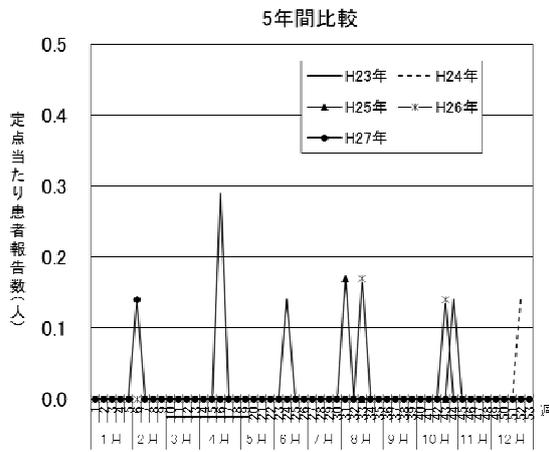
平成27年の累積患者報告数は438人、定点当たり患者報告数は13.43人で、前年(9.26人)と比べて増加した。年当初から10月中旬までは、例年より低いレベルで推移したが、11月以降報告数が増加し、定点当たり患者報告数の最大値は、第50週の1.09人であった。年齢階級別では7歳が最も多く、4-8歳が全体の63.0%を占めた。



(ウ) 眼科定点把握対象疾患

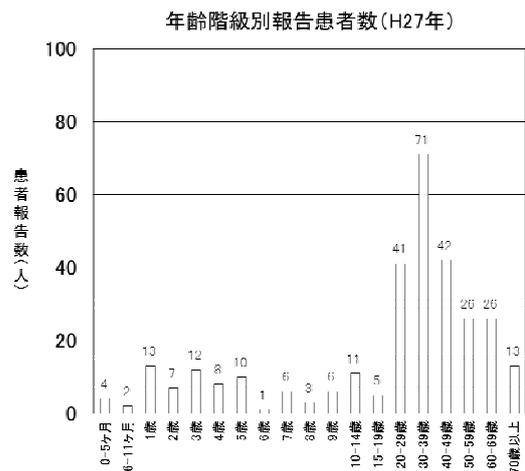
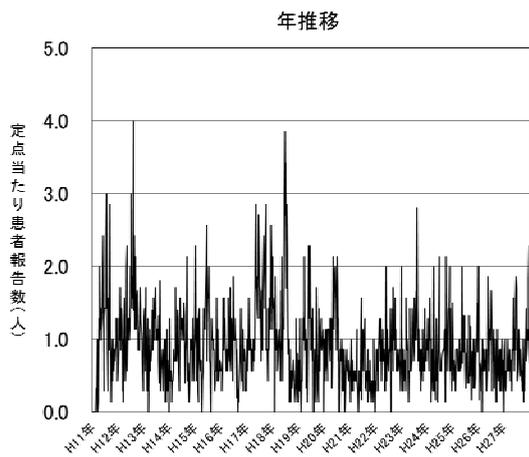
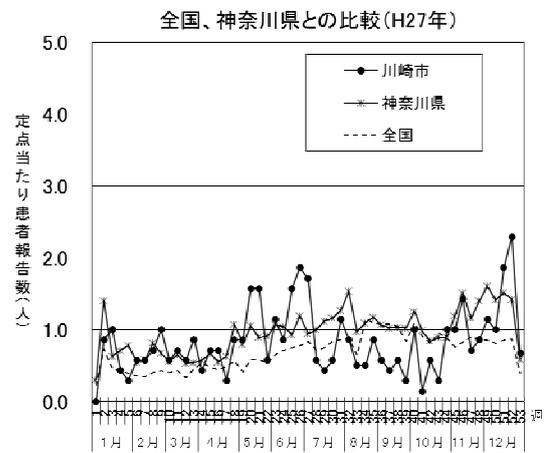
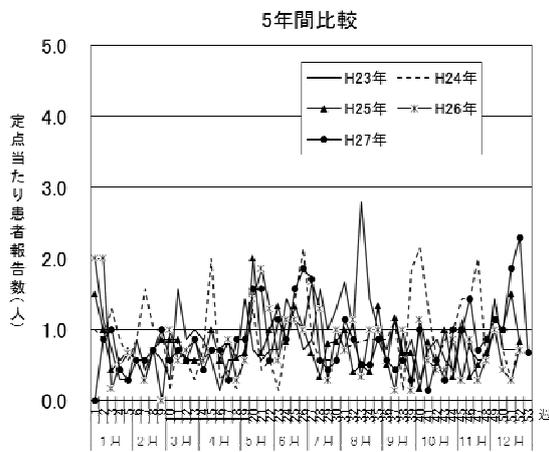
a 急性出血性結膜炎

平成 27 年の累積患者報告数は 1 人、定点当たり患者報告数は 0.14 人で、前年 (0.31 人) と比べて減少した。報告は、第 6 週に 20-29 歳が 1 人であった。



b 流行性角結膜炎

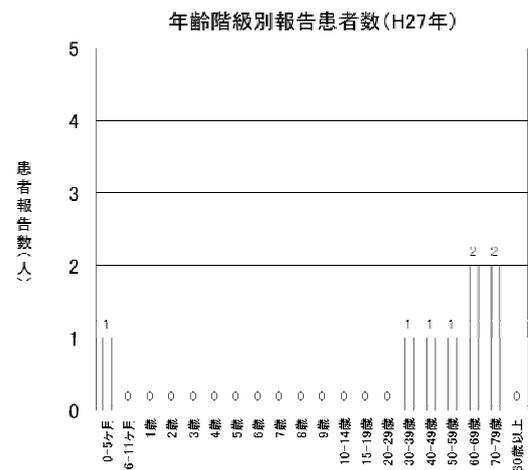
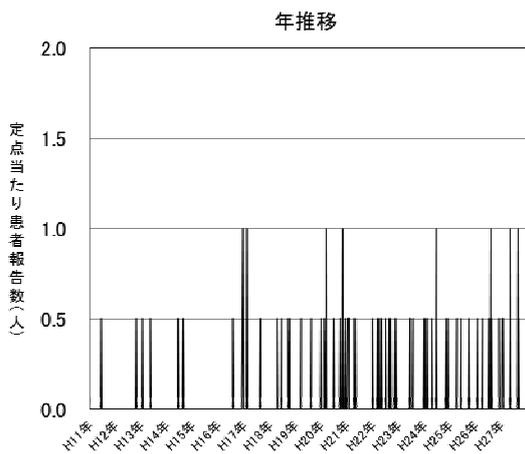
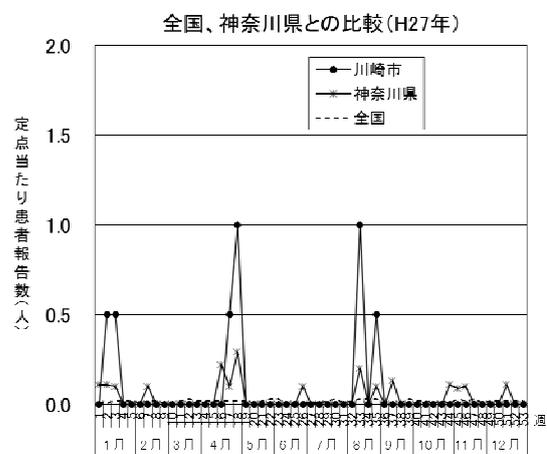
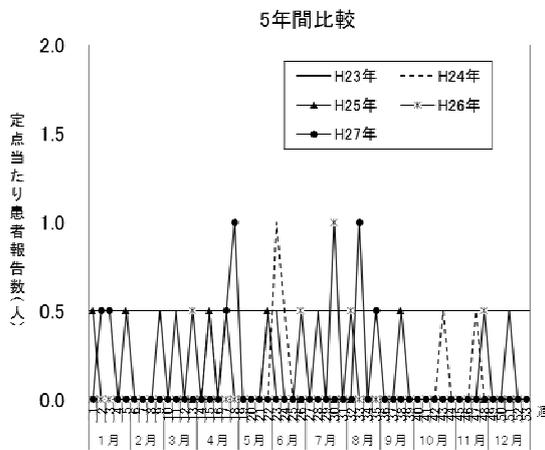
平成 27 年の累積患者報告数は 307 人、定点当たり患者報告数は 44.00 人で、前年（40.34 人）と比べてやや増加した。5 月中旬から 7 月上旬及び 11 月以降に報告数が増加し、定点当たり患者報告数の最大値は第 52 週の 2.29 人であった。年齢階級別では、10 歳未満の割合が全体の 23.5%、30-39 歳の割合が全体の 23.1%を占めた。



(エ) 基幹定点把握対象疾患

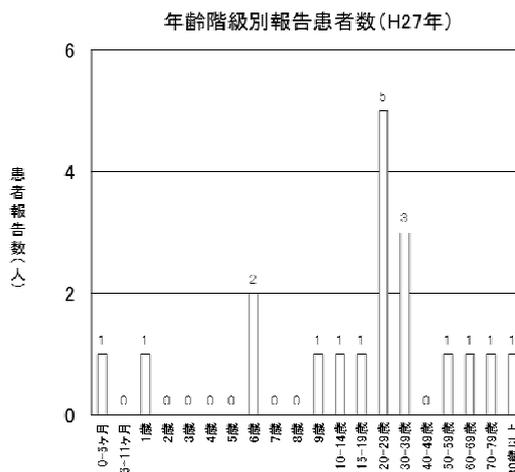
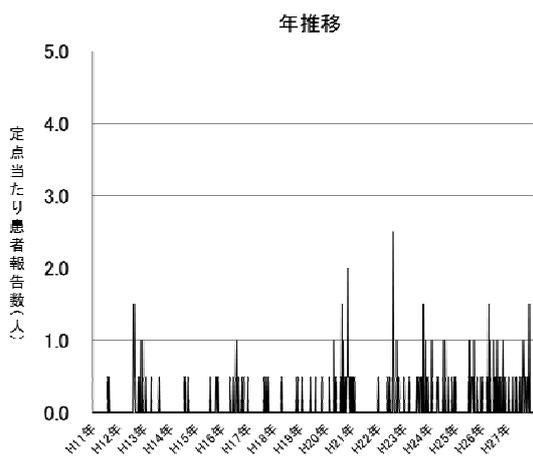
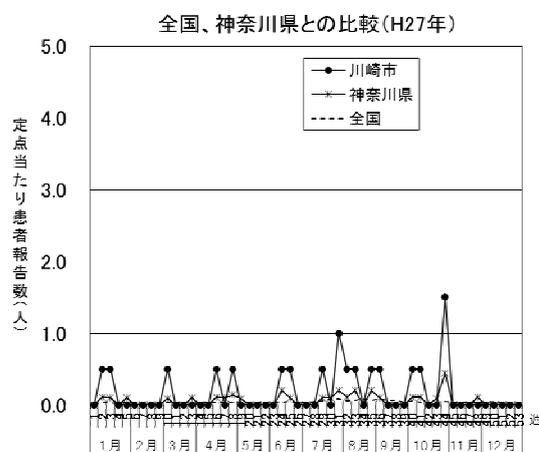
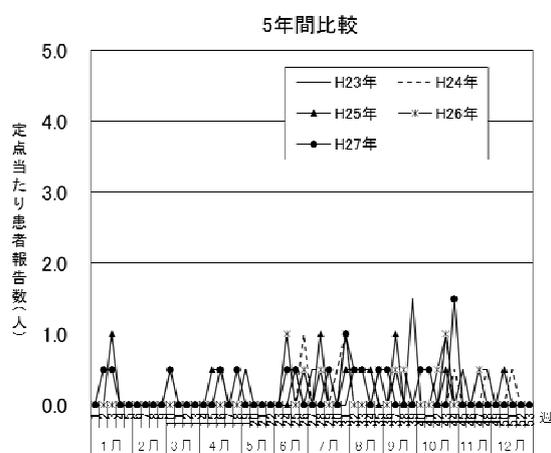
a 細菌性髄膜炎

平成 27 年の累積患者報告数は 8 人、定点当たり患者報告数は 4.00 人で、前年 (3.50 人) と比べてやや増加した。1 月に 2 人、4 月及び 8 月に各 3 人の報告があった。年齢階級別では、60-69 歳及び 70-79 歳が各 2 人と最も多かった。



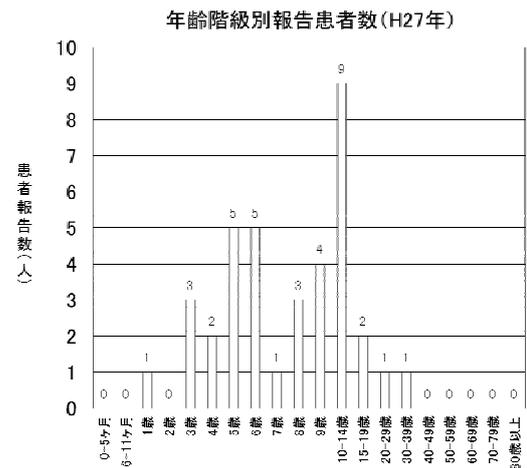
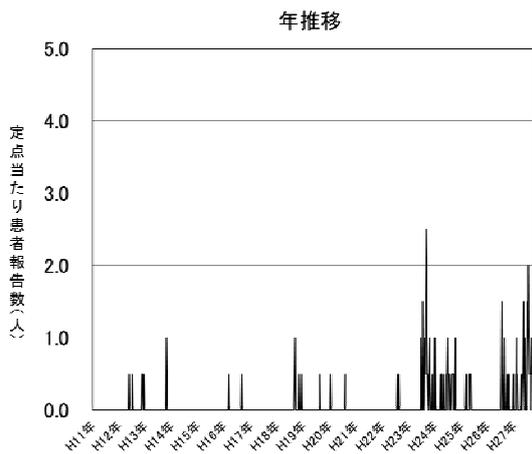
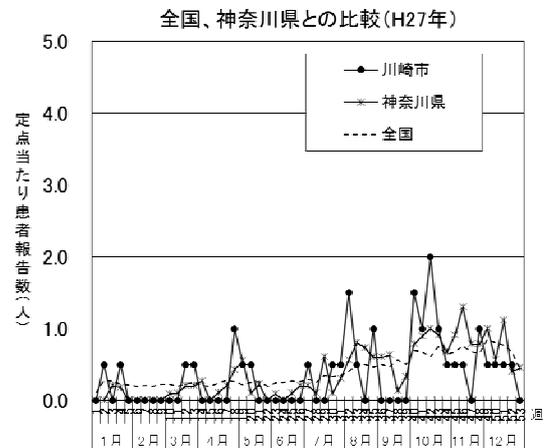
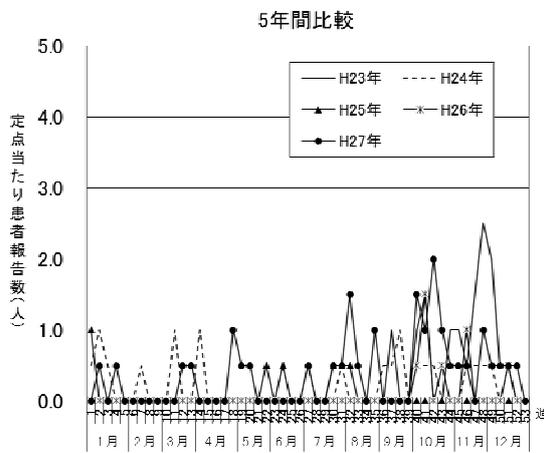
b 無菌性髄膜炎

平成 27 年の累積患者報告数は 19 人、定点当たり患者報告数は 9.50 人で、前年(10.00 人)と比べてやや減少した。報告は年間を通してみられたが、冬期は比較的報告数が少なかった。年齢階級別では、20-29 歳が最も多く、全体の 26.3%を占めた。

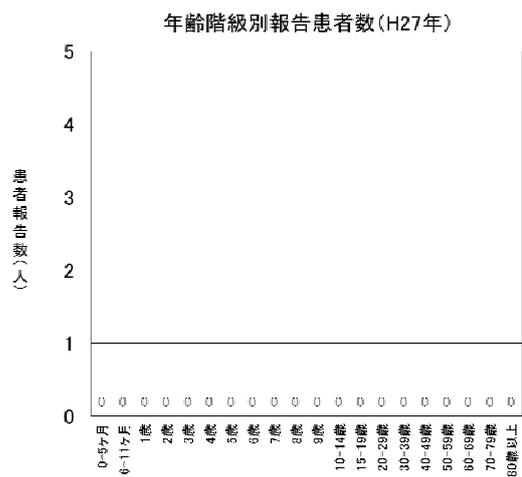
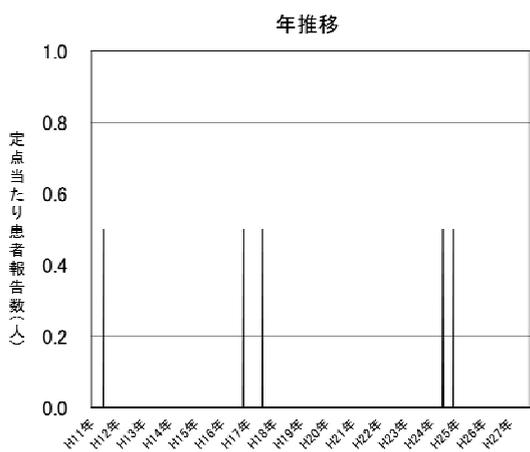
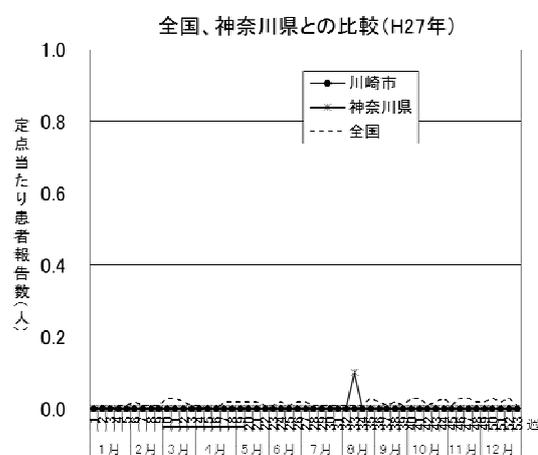
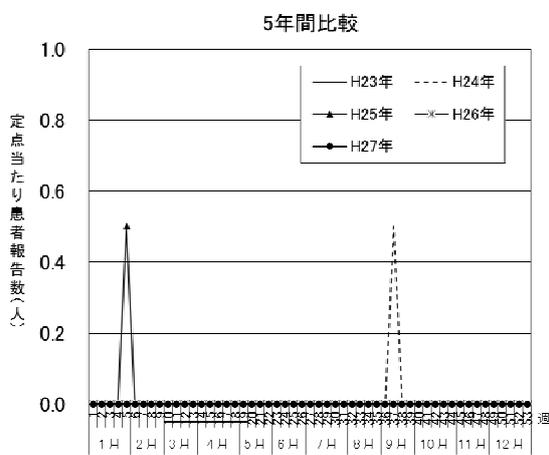


c マイコプラズマ肺炎

平成 27 年の累積患者報告数は 37 人、定点当たり患者報告数は 18.50 人で、前年 (4.00 人) と比べて大幅に増加した。報告は年間を通してみられ、10 月以降は報告数が増加した。年齢階級別では、10 歳未満の割合が最も多く、全体の 64.9% を占めた。

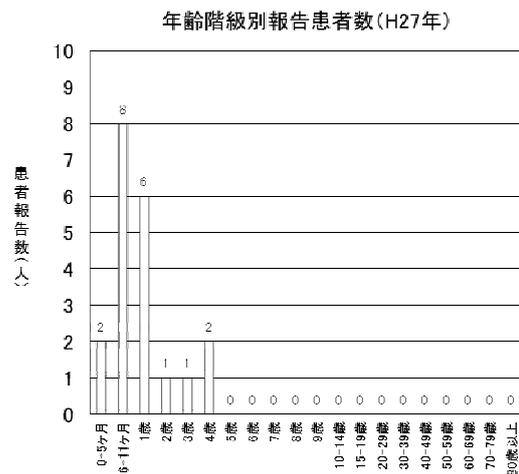
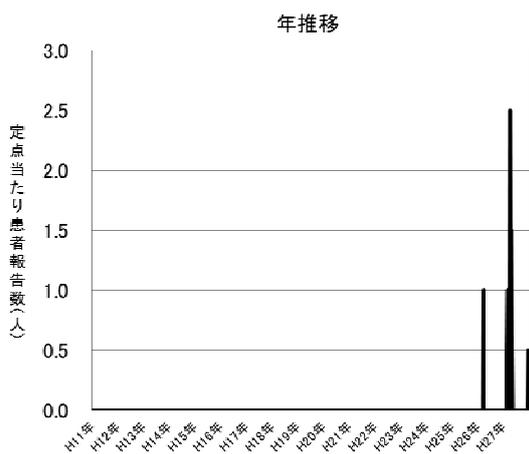
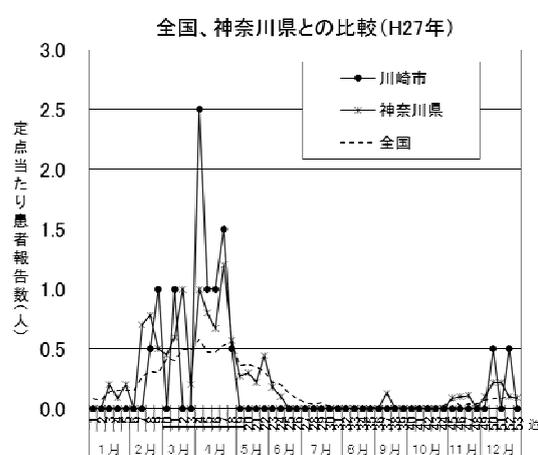
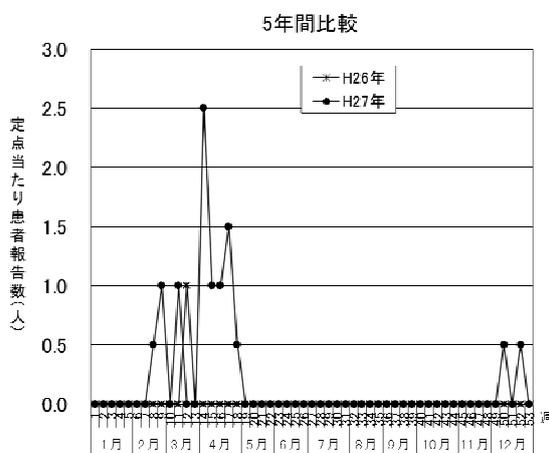


- d クラミジア肺炎（オウム病を除く。）
平成 27 年は報告がなかった。



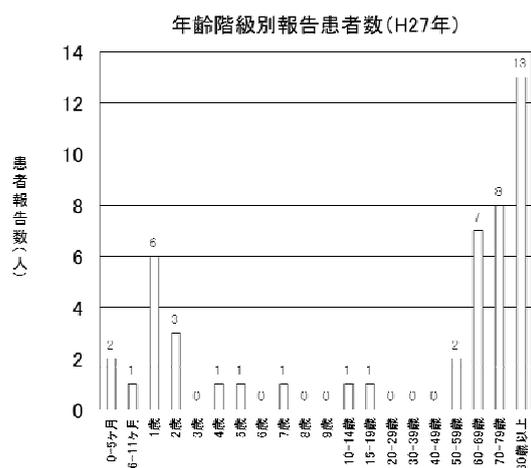
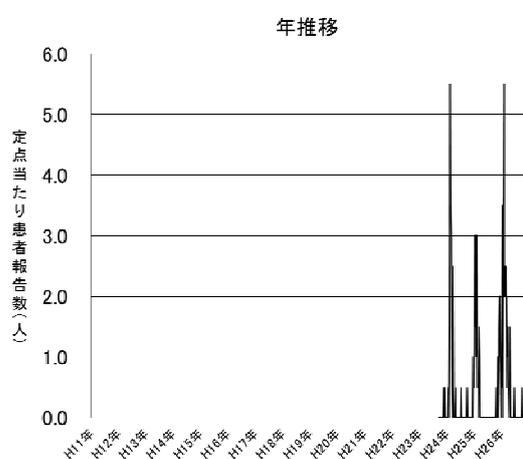
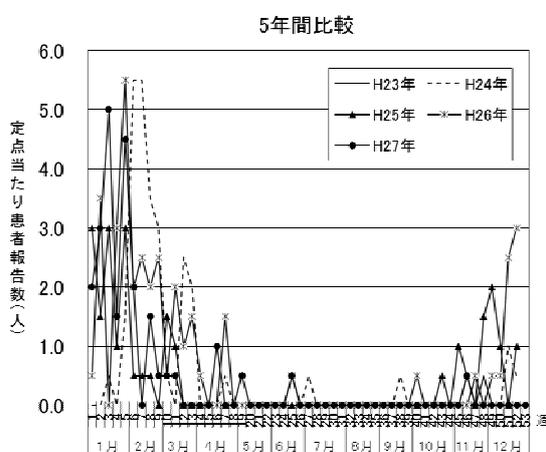
e 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

平成 27 年の累積患者報告数は 20 人、定点当たり患者報告数は 10.00 人で、前年（1.00 人）と比べて大幅に増加した。月別では、4 月が 13 件と最多であった。年齢階級別では、6-11 か月が最も多く、全体の 40.0%を占めた。



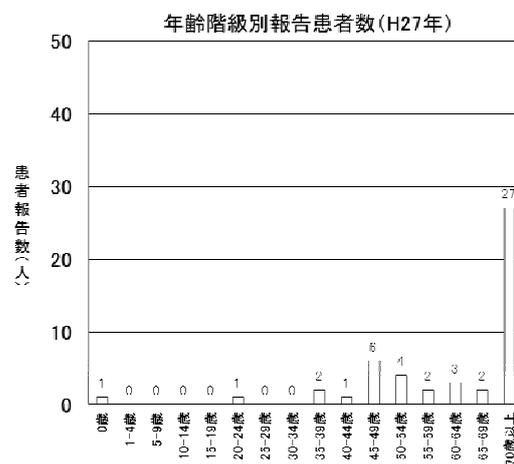
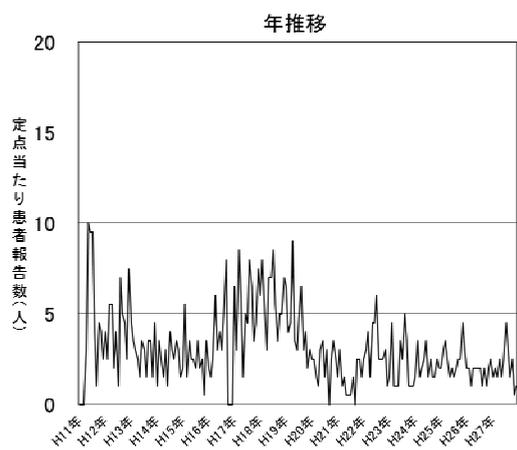
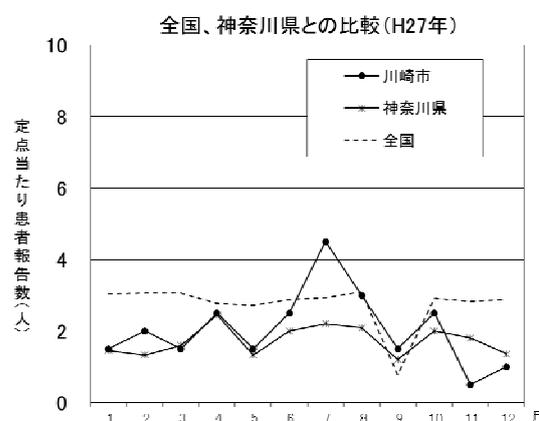
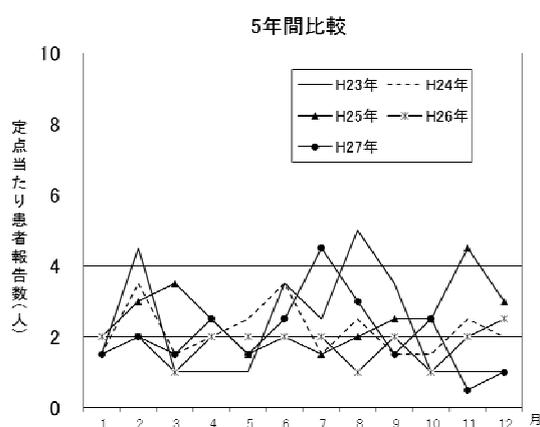
f インフルエンザ入院サーベイランス

平成27年の累積患者報告数は47人、定点当たり患者報告数は23.50人で、前年(36.50人)と比べて減少した。月別では、1月が32件と最多であった。年齢階級別では、80歳以上が最も多く、全体の27.7%を占めた。



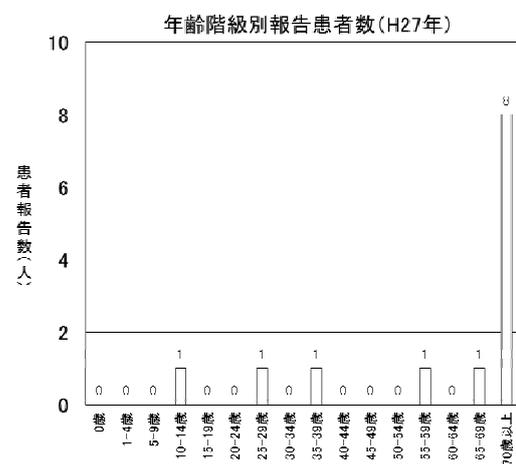
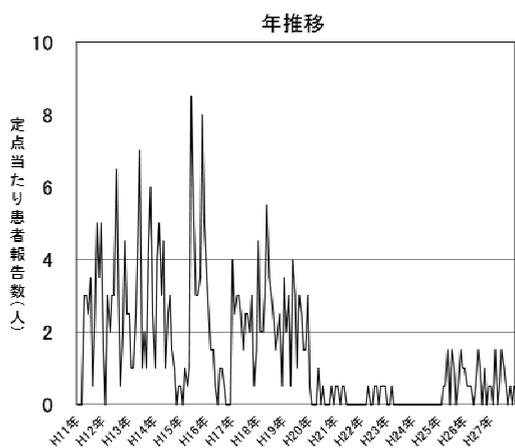
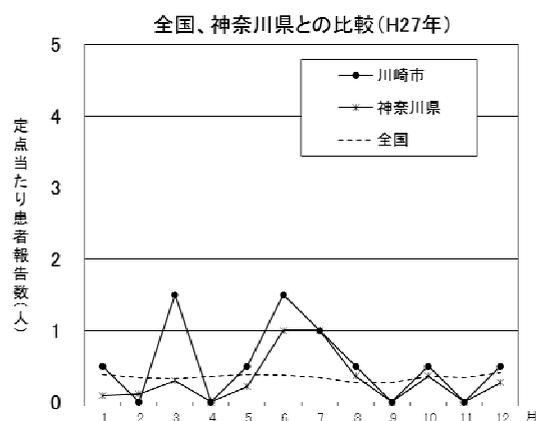
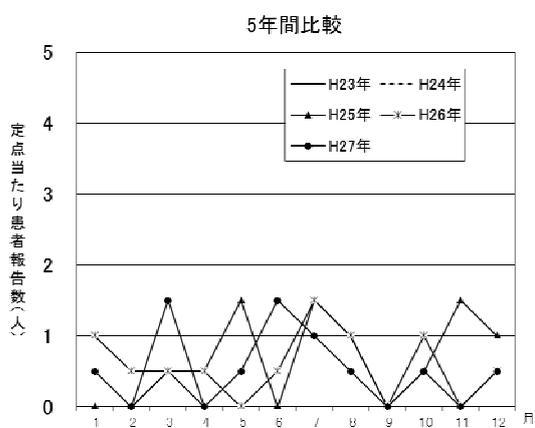
g メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

平成27年の累積患者報告数は49人、定点当たり患者報告数は24.50人で、前年(21.50人)と比べてやや増加した。定点当たり患者報告数の最大値は7月の4.50人であった。年齢階級別では、70歳以上が最も多く全体の55.1%を占めた。



h ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

平成 27 年の累積患者報告数は 13 人、定点当たり患者報告数は 6.50 人で、前年（7.00 人）と比べてやや減少した。定点当たり患者報告数の最大値は 3 月及び 6 月の 1.50 人であった。年齢階級別では、70 歳以上が最も多く全体の 61.5%を占めた。



- i 薬剤耐性緑膿菌感染症
平成 27 年は報告がなかった。

